

芝山町境貝塚第2貝塚出土動物遺体の検討

小川 慶一郎

はじめに

境貝塚は山武郡芝山町境字右京塚・香取郡多古町千田字木城地95ほかに所在する（第1図）。高谷川左岸の標高30m～40mの台地上に位置する。

遺跡が町境に位置するため、町ごとに別の名称で呼ばれ、それぞれ異なる遺跡と考えられていた。古くは「千田貝塚」と呼ばれていたが、一般にはその所在が知られていなかった（西山2000）。その後、西山太郎によって仮称「境貝塚」として採集遺物を紹介し、晩期終末の遺跡として知られることとなった（西山1969・1974）。以降は、境遺跡または境貝塚の名称で調査が実施されていく。また西山は遺跡名の混乱収束のため、「境・千田遺跡」の呼称を提示した（西山2000）。しかし、『ふさの国文化財ナビゲーション』では芝山町側を「境貝塚」、多古町側を「千田台遺跡」と示している（千葉県教育委員会2023/12/29時点）。本稿では千葉県教育委員会の呼称に従い、主に芝山町側の地点を扱うことから、「境貝塚」の名称を用いる。

貝層に関わる発掘調査は3度実施された。第1次調査は、1979年の農業用水管敷設および農道拡張によるもの（芝山町教育委員会1980）、第2次調査は、1985年の農道整備によるもの（多古町遺跡調査会1987）、第3次調査は、2000年～2009年のゴルフ場建設によるものである（財団法人山武郡市文化財センター2008・大谷ほか2009）。貝層は4地点確認されており、第1次調査・第2次調査では第1貝塚、第3次調査では第4貝塚の本調査が主に実施された（第3図）。なお第3次調査では、第2貝塚、第3貝塚の確認調査も実施されたが、貝層の内容について詳細不明である。そのため、芝山町教育委員会の協力の元、資料実見を行ったところ、報告書非掲載の第2貝塚貝層サンプルが確認された。本稿では、第2貝塚から出土した動物遺体や貝層の特徴について、第1貝塚や第4貝塚の成果と比較して報告を行う。

1 資料と方法

（1）資料

資料は遺物袋とラベルで梱包されており、P27のテン箱2箱に保管されていた。テン箱は、「第2貝塚」、「R-14②・⑨」に分かれて保管されていた。

「第2貝塚」テン箱中のサンプルは、「貝層プラン確認時」、「攪乱」、「一括」の記載があり、サンプル採集位置が不明瞭なものである。「R-14②・⑨」は、R-14グリッド内の2番目のトレンチ、9番目のトレンチということで、R-14②、R-14⑨というトレンチ名称が付けられている。第2図、第4図の通り、第2貝塚にかかるトレンチである。R-14サンプルは各トレンチ壁面にサンプル採取位置を柱状に設定し、採取したものである。サンプル採取位置について、報告書には明示されていないが、原図を確認することで把握することができた。

（2）分析方法

①貝類

同定 同定は、原則として筆者所蔵の現生標本との比較によって行った。

集計 腹足綱は軸底部、二枚貝綱は殻頂部を集計部位とした。

計測 計測不可能な破片資料を除く、すべての資料を対象とした。腹足綱は殻高、二枚貝綱は殻長を計測した。結果として後述する主体種のうち3種の計測を行った。

その他観察項目 被熱痕、焼痕、剥離痕、破碎痕、加工痕はみられなかった。破碎貝は多く確認された。

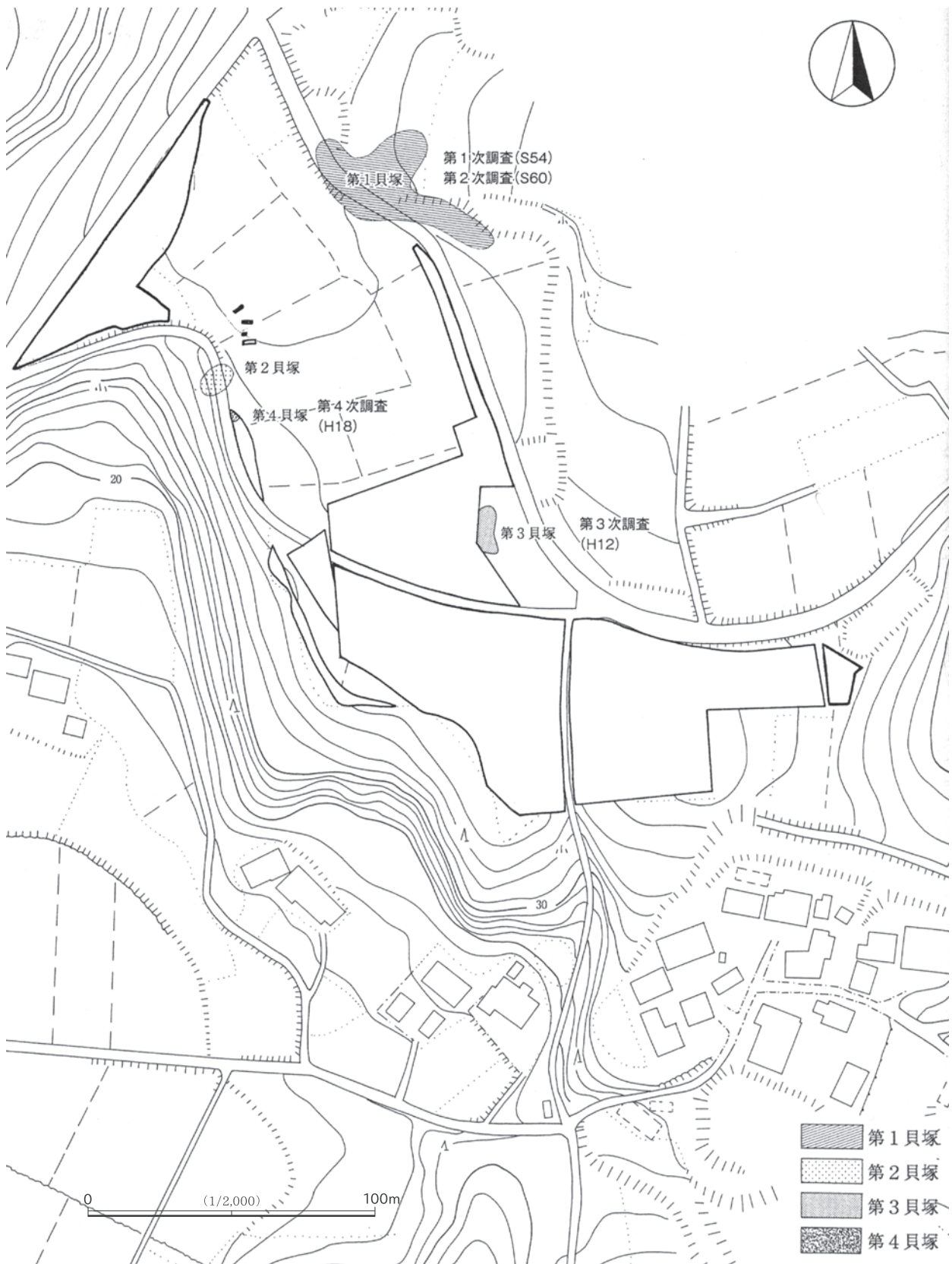
②脊椎動物遺体

同定 同定は、原則として筆者所蔵の現生標本との比較によって行った。特に魚類の同定部位は、主上顎骨・前上顎骨・歯骨・角骨・方骨・主鰓蓋骨・椎骨を必須部位とし、分類群の骨格の特徴に応じてその他の部位も適宜同定対象に加えた。

その他観察項目 焼痕、被熱痕、剥離痕、破碎痕、加工痕はみられなかった。



第1図 境貝塚の位置と周辺遺跡 ((公財)千葉県教育振興財団2023に加筆)

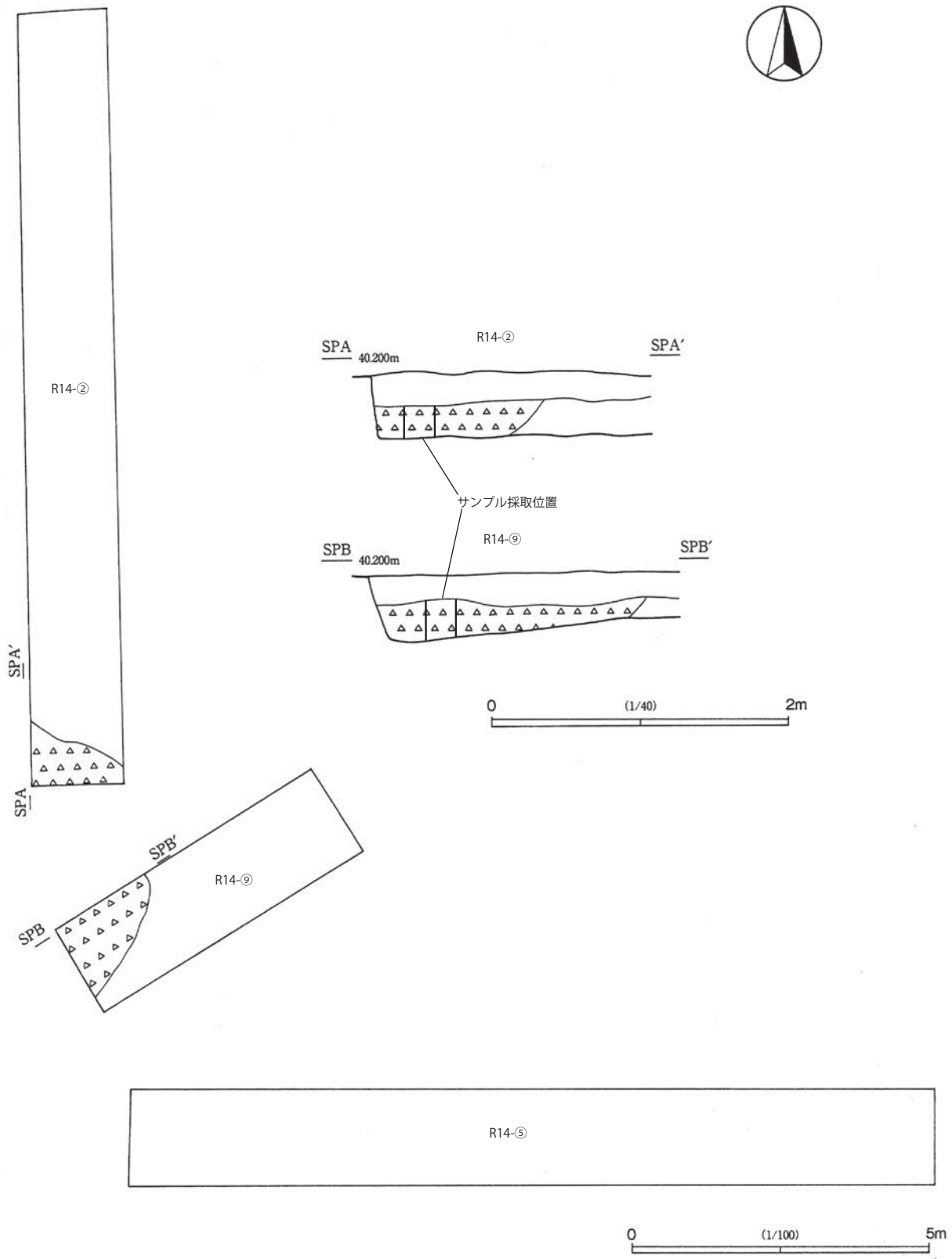


第3図 境貝塚の貝層と調査区の位置 (財団法人山武郡市文化財センター2008)

後期前葉にはチョウセンハマグリが増加するが、ダン
 ベイキサゴが優占することが多い。後期前葉の遺構内
 貝層はヤマトシジミが多い。ダンベイキサゴがチョ

ウセンハマグリより優占する。

全体的な傾向としては、中期中葉に主体種としてみ
 られた、汽水性種・内湾性種が中期後葉から後期に向



第4図 第2貝塚検出状況 (財団法人山武郡市文化財センター2008に加筆)

かうに連れて減少することが確認される。ただし、ヤマトシジミは後期以降に多くみられる貝層もあり、ハマグリも中期中葉よりは減少するものの、一定量存在

し続ける。またダンベイキサゴとチョウセンハマグリ
の比率の変遷をみると、中期中葉段階ではダンベイキサゴが多いが、中期末ではチョウセンハマグリが卓

越する。後期以降はダンベイキサゴが増加し、チョウセンハマグリと同程度またはダンベイキサゴが優占する様相がみられる。

清水潤三氏の論考以来、栗山河流域の貝塚は、中期にダンベイキサゴが多く、後期にチョウセンハマグリが増加する傾向が指摘されてきた(清水1958)。しかし、今回同一遺跡内で時期別の比較を行った結果、より細かい変遷がみられた。ここでは、チョウセンハマグリとハマグリとの関係性を確認しておきたい。中期末以降のチョウセンハマグリが多くみられる貝層にはハマグリは少なく、ハマグリが多い貝層にはチョウセンハマグリが少ないという相関関係がみられる。つまり、ダンベイキサゴとチョウセンハマグリとの2種が単純な対立関係にあり、何かしらの要因で組成比が変化するというのではなく、その他の種の利用も関連している可能性が高い。

チョウセンハマグリが多寡が生じる具体的な要因として、チョウセンハマグリとハマグリとの採集量を補填するためにハマグリを獲得していたこと(不漁・採取規制など)、周辺環境の変化などがあげられる。今後は周辺遺跡の貝類組成・計測結果を踏まえて、理解を深めていきたい。

(2) 第2貝塚の位置付け

第2貝塚一括・攪乱サンプルと同様の傾向が、堀之内1式期の貝層(特にD334)にみられることから、第2貝塚一括・攪乱サンプルは堀之内1式期のものである可能性が高い。

R-14サンプルは、D335貝層の組成と似ることからこちらも堀之内1式期の貝層である可能性が高い。上記の事柄から、第2貝塚の貝層は堀之内1式期主体のものであった可能性が高い。また2つのサンプルで貝種組成に差があるが、同一時期の貝層の可能性が高いことから、時期差ではなく季節性などによる差と考えられる。

謝辞

陸産微小貝類の同定は千葉県立中央博物館の黒住耐二氏に、魚類の同定は千葉市教育委員会の服部智至氏にご教示いただいた。貝類の同定と境貝塚の過去の整理状況について、千葉県埋蔵文化財調査センターの西野雅人氏にご教示いただいた。芝山町教育委員会には資料の見学・借用に際してご協力いただいた。この場を借りて御礼申し上げる。

引用・参考文献

大谷弘幸・西野雅人・黒住耐二2009「芝山町境貝塚補稿」『研究ノート山武 特別号』山武郡市文化財センター

(公財)千葉県教育振興財団2023『首都圏中央連絡自動車道埋蔵文化財調査報告書47-芝山町千田の台遺跡(2)-』

財団法人山武郡市文化財センター2008『境貝塚・山ノ台遺跡・儘田台遺跡・殿部田古墳群』

芝山町教育委員会1980『千葉県山武郡芝山町境遺跡発掘調査報告書-第I地点・第II地点-』

清水潤三1958「千葉県栗山川溪谷における貝塚の地域的研究:豫報」『史学』31 三田史学会

千葉県教育委員会文化財課『ふさの国文化財ナビゲーション』
http://map.pref.chiba.lg.jp ※2023/12/29

多古町遺跡調査会1987『千葉県多古町境遺跡』

西山太郎1969「仮称『境貝塚』採集の土器について」『奈和』4 奈和同人会

西山太郎1974「千葉県香取郡多古町・山武郡芝山町『境遺跡(貝塚)』出土の土器について」『霞ヶ浦文化』4

西山太郎2000「境・千田遺跡」『千葉県の歴史 資料編考古1』千葉県史料研究財団

第1表 貝類種名一覧

目	科	種	学名
古腹足目	コンギスガイ科	ダンベイキサゴ	<i>Umbonium giganteum</i>
新生腹足目	ウミナガ	ウミナガ	<i>Batillaria multiformis</i>
	ウミナガ	ヘナタリ	<i>Cerithideopsis cingulata</i>
マルダレガイ目	フジノハナガイ科	フジノハナガイ	<i>Chion dysoni semigranosa</i>
	ユウシオガイ科	ユウシオガイ	<i>Moerella rutila</i>
	シジミ科	ヤマトシジミ	<i>Corbicula japonica</i>
	マルダレガイ科	チョウセンハマグリ	<i>Meretrix lamareckii</i>
	マルダレガイ科	アサリ	<i>Ruditapes philippinarum</i>
	シオサナミ科	オチバガイ	<i>Psammottaena virescens</i>
	シオサナミ科	ワスレイソシジミ	<i>Nuttallia obscurata</i>
	イボガイ科	マガキ	<i>Crassostrea gigas</i>

第2表 第2貝塚貝類同定結果

種名\サンプル名	第2貝塚										14R				合計		
	カクラン内一括		プラン確認時		一括		合計		②		⑨		合計		合計		
	L	R	L	R	L	R	L	R	L	R	L	R	L	R	L	R	
ウミナガ							3										3
ヘナタリ										1							1
ダンベイキサゴ	817		64		143		858		13		5		18				876
腹足類合計	817		64		143		861		14		5		19				880
フジノハナガイ	4	2					4	2					4	2			8
ヤマトシジミ	86	81			21	24	107	105	681	732	49	57	837	894	944	999	
チョウセンハマグリ	14	15	1	2		2	15	19	20	22			35	41	50	60	
ハマグリ属									113	141	14	11	127	152	127	152	
アサリ									1	2				3			4
オチバガイ													1				1
ワスレイソシジミ	7	9			2	1	9	10	40	44	3		52	54	61	64	
マガキ		3					1	4						4			8
二枚貝類合計	111	110	1	3	23	26	135	141	855	941	66	66	1056	1150	1191	1201	
ナミゲル							1	1									1
キセルガイ科		3		1			4	8									8
マイマイ							1	1									2

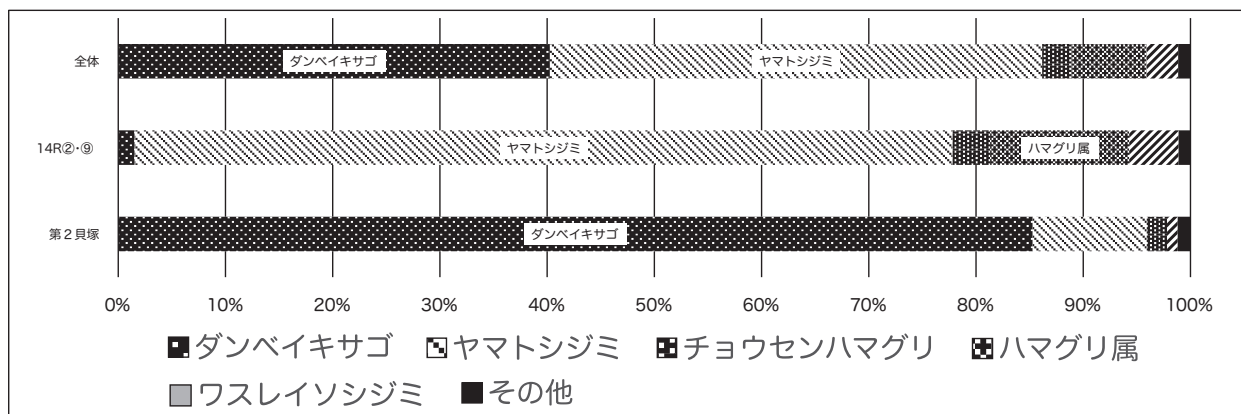
第3表 第2貝塚主要貝類組成

最小個体数(MNI)

種名\サンプル名	第2貝塚	14R②・⑨	全体
ダンベイキサゴ	858	18	876
ヤマトシジミ	107	894	999
チョウセンハマグリ	19	41	60
ハマグリ属		152	152
ワスレイソシジミ	10	54	64
その他	12	13	25
合計	1006	1172	2176

最小個体数(%)

種名\サンプル名	第2貝塚	14R②・⑨	全体
ダンベイキサゴ	85.3%	1.5%	40.3%
ヤマトシジミ	10.6%	76.3%	45.9%
チョウセンハマグリ	1.9%	3.5%	2.8%
ハマグリ属	0.0%	13.0%	7.0%
ワスレイソシジミ	1.0%	4.6%	2.9%
その他	1.2%	1.1%	1.1%
合計	100%	100%	100%



第5図 第2貝塚貝類組成

第4表 第2貝塚貝類計測値分布

第2貝塚攪乱・一括

ダンベイキサゴ殻高	チョウセンハマグリ殻長	ヤマトシジミ殻長			
-10	-10	-10			
-12	-15	-12			
-14	-20	-14	1		
-16	-25	3	-16		
-18	-30	2	-18	1	
-20	-35	7	-20	3	
-22	-40		-22	3	
-24	-45	1	-24	6	
-26	-50		-26	7	
-28	-55		-28	3	
-30	-60	1	-30	4	
-32	-65		-32	1	
-34	-70		-34		
-36	-75		-36		
-38	-80		-38		
-40	-85		-40		
-42	-90		-42		
試料数	27	試料数	14	試料数	29
平均	28.01	平均	32.16	平均	23.60
標準偏差	3.81	標準偏差	9.21	標準偏差	4.17

R14-②・③

ダンベイキサゴ殻高	チョウセンハマグリ殻長	ヤマトシジミ殻長	ワスレイソシジミ靱帯長				
-10	-10	-10	-1				
-12	-15	-12	-2				
-14	-20	-14	-3				
-16	-25	6	-16	1			
-18	-30	17	-18	8	-5		
-20	-35	14	-20	9	-6	2	
-22	-40	4	-22	13	-7	1	
-24	-45	1	-24	18	-8	2	
-26	-50		-26	12	-9	2	
-28	-55		-28	5	-10	5	
-30	-60		-30	7	-11	1	
-32	-65		-32	4	-12		
-34	-70		-34	2	-13		
-36	-75		-36		-14		
-38	-80		-38	2	-15		
-40	-85		-40		-16		
-42	-90		-42	1	-17		
試料数	3	試料数	42	試料数	82	試料数	13
平均	19.26	平均	30.01	平均	23.77	平均	8.23
標準偏差	1.74	標準偏差	4.47	標準偏差	4.92	標準偏差	1.56

第5表 第2貝塚脊椎動物遺体同定結果

凡例p: 近位, d: 遠位

指紋番号	整理番号	地点名	層位	年次	種類	部位	左右	点数	残存位置	備考
1	1	第2貝塚	プラン確認時	2006. 8. 1	ニホンジカ	基節骨	?	<1>	d	
2	2	第2貝塚	プラン確認時	2006. 8. 1	ニホンジカ	角	?	<2>	fr	
3	6	第2貝塚	プラン確認時	下	2006. 8. 1	スズキ属	腹椎	-	1	小型
4	5	第2貝塚	プラン確認時	下	2006. 8. 1	ウナギ属	角骨	R	1	
5	4	第2貝塚	プラン確認時	下	2006. 8. 1	ウナギ属	腹椎	-	2	
6	3	第2貝塚	プラン確認時	下	2006. 8. 1	ウナギ属	尾椎	-	2	
7	7	第2貝塚	プラン確認時	中	2006. 8. 1	ウナギ属	腹椎	-	1	
8	10	R14	②		鳥類 (未同定)	鳥口骨	L	1	p	
9	8	R14	②		ウナギ属	腹椎	-	1		
10	9	R14	②		ウナギ属	尾椎	-	4		

第6表 境貝塚貝類組成

※第1次調査、第2次調査の成果は貝層名の前に年次を示した(79、85)

種名\貝層名	第4貝層		79Ⅲ層		79Ⅳ層		79Ⅴ層		79Ⅵ層		79Ⅶ層		85第3貝層		85第2貝層		85第1貝層		D334		D335		第2貝塚一括		14R②・③	
	前五部a-b	中期	中期	中期末	後期初段	後期中段	後期終段	加群利田堀之内	堀之内1	堀之内1	堀之内1	堀之内1	堀之内1	堀之内1	堀之内1	堀之内1	堀之内1	堀之内1	堀之内1	堀之内1	堀之内1	堀之内1	堀之内1	堀之内1	堀之内1	堀之内1
ヤマトシジミ	11079	136	14	4	6	6	175	60	70	65	116	107	894													
オチバガイ	283																									
ワスレイソシジミ	3155			2		1																				
マガキ	361				1			1	1	4	2	5	4	4												
アサリ	668							2	38		44	6	10	1	3											
ハマグリ	2779	2		4	140	30	117	105	40	28	29															
ハマグリ属											7	41														
丹ベイキサゴ	2569	23	3	5	28	52	415	534	384	150	68	858	18													
チョウセンハマグリ	479	56	83	140			32	487	485	1844	72	85	19	41												
その他	106	3	2	0	0	0	6	19	21	9	48	7	5													
合計	11479	220	102	155	175	123	1259	1204	2407	341	423	1006	1172													

種名\貝層名	第4貝層		79Ⅲ層		79Ⅳ層		79Ⅴ層		79Ⅵ層		79Ⅶ層		85第3貝層		85第2貝層		85第1貝層		D334		D335		第2貝塚一括		14R②・③	
	前五部a-b	中期	中期	中期末	後期初段	後期中段	後期終段	加群利田堀之内	堀之内1	堀之内1	堀之内1	堀之内1	堀之内1	堀之内1	堀之内1	堀之内1	堀之内1	堀之内1	堀之内1	堀之内1	堀之内1	堀之内1	堀之内1	堀之内1	堀之内1	堀之内1
ヤマトシジミ	9.40%	61.82%	13.73%	2.58%	3.43%	4.88%	14.12%	4.98%	2.91%	19.06%	27.42%	10.64%	76.28%													
オチバガイ	2.47%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.09%													
ワスレイソシジミ	27.48%	0.00%	0.00%	1.29%	0.00%	0.81%	0.00%	0.00%	0.59%	4.96%	0.99%	4.61%														
マガキ	3.14%	0.00%	0.00%	0.00%	0.57%	0.00%	0.08%	0.08%	0.17%	0.59%	1.18%	0.40%	0.34%													
アサリ	5.82%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	1.63%	3.07%	0.00%	1.83%	1.76%	2.36%	0.10%	0.26%													
ハマグリ	24.21%	0.91%	0.00%	2.58%	80.00%	24.39%	9.44%	8.72%	1.66%	8.21%	6.86%	0.00%	0.00%													
ハマグリ属	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	2.05%	9.69%	0.00%	12.97%														
丹ベイキサゴ	22.38%	10.45%	2.94%	3.23%	16.00%	42.28%	33.49%	44.35%	15.93%	43.99%	16.08%	85.29%	1.54%													
チョウセンハマグリ	4.17%	25.45%	81.37%	90.32%	0.00%	26.02%	39.31%	40.28%	76.61%	21.11%	20.09%	1.89%	3.50%													
その他	0.92%	1.36%	1.96%	0.00%	0.00%	0.00%	0.48%	1.58%	0.87%	2.64%	11.35%	0.70%	0.43%													
合計	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%													

